

注記

■重要な会計方針

①有形固定資産等の評価基準及び評価方法

開始時における有形固定資産等の評価は原則として取得原価とし、取得原価が不明なものは原則として再調達原価としております。

また、開始後については、原則として取得原価とし再調達は行わないこととしております。

②有価証券等の評価基準及び評価方法

出資金額を以て貸借対照表価額としておりますが、出資金のうち、市場価格のないものは、出資先の財政状態の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合に、相当の減額を行うこととしております。

なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしております。

③有形固定資産等の減価償却の方法

・有形固定資産

定額法(間接法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 8年～50年(建物附属設備)

工作物 10年～60年

物品 4年～20年

・無形固定資産

定額法(直接法)を採用しております。

④引当金の計上基準及び算定方法

・徴収不能引当金

未収金及び長期延滞債権について、過去5年間の平均不納欠損率により計上しております。

・賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末・勤勉手当のうち、全支給対象期間に対する本年度の支給対象期間の割合を乗じた額を計上しております。

・退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額を計上しております。

・損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しております。

⑤リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の売買契約に係る方法に準じて会計処理を行っております。(少額リース資産及び短期のリース取引は簡便的に取り扱い、通常の賃貸借に係る方法に準じて会計処理を行っております。)

なお、オペレーティング・リース取引は、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

⑥資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)及び現金同等物(3ヶ月以内の短期投資等)を資金の範囲としております。

このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いも含んでおります。

⑦その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

・消費税等の会計処理

税込方式によっております。(一部、地方公営企業では税抜方式を採用しております。)

■重要な会計方針の変更等

該当項目なし

■重要な後発事象

①公営企業法適用化の適用

農業集落排水事業特別会計が令和4年度より地方公営企業法の適用により、特別会計から公営企業へ移行する予定となっています。

■偶発債務

該当項目なし

■追加情報

①対象範囲(対象とする会計)

- ・一般会計等
 - 一般会計
- ・全体会計
 - 国民健康保険特別会計
 - 介護保険特別会計
 - 後期高齢者医療特別会計
 - 農業集落排水事業特別会計
 - 上水道事業会計
- ・連結会計
 - 福島県後期高齢者医療広域連合
 - 福島県市町村総合事務組合
 - 公立岩瀬病院企業団
 - 石川地方生活環境施設組合
 - 須賀川地方広域消防組合
 - 株式会社 こぶしの里

なお、連結対象団体は以下の連結方法を採用しております。

団体名	区分	連結方法	連結割合
福島県後期高齢者医療広域連合	一部事務組合等	比例連結	0.31%
福島県市町村総合事務組合 消防補償等特別会計	一部事務組合等	比例連結	0.85%
福島県市町村総合事務組合 消防賞じゅつ金特別会計	一部事務組合等	比例連結	1.12%
福島県市町村総合事務組合 非常勤職員公務災害補償特別会計	一部事務組合等	比例連結	0.54%
公立岩瀬病院企業団	一部事務組合等	比例連結	2.82%
石川地方生活環境施設組合	一部事務組合等	比例連結	16.00%
須賀川地方広域消防組合	一部事務組合等	比例連結	6.88%
株式会社 こぶしの里	第三セクター等	全部連結	-

- ②出納整理期間について、出納整理期間が設けられている旨(根拠条文を含みます。)及び出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている旨、財務書類の作成基準日は、会計年度末(3月31日)ですが、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としております。
(地方自治法 235 条の 5「普通地方公共団体の出納は、翌年度の5月31日をもって閉鎖する。」)

- ③地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化比率の状況は、次のとおりです。

- ・実質赤字比率 - % (R2 -)
- ・連結実質赤字比率 - % (R2 -)
- ・実質公債費比率 11.1 % (R2 10.8%)
- ・将来負担比率 11.9 % (R2 36.8%)
- ・資金不足比率
 - 農業集落排水事業特別会計 - % (R2 -)
 - 上水道事業会計 - % (R2 -)

※ 赤字額や資金不足が無い場合は、「 - 」と記載させて頂いております。

④繰越事業に係る将来の支出予定額

・一般会計	23,197 千円
・農業集落排水事業特別会計	830 千円

⑤財務四表における顕著な増減事項

令和2年度に大幅な増加がございました国県等補助金収入および補助金等支出は令和3年度に減少致しました。一般会計では、国県等補助金収入（NW）で約13.5億円、補助金等（PL）で約12.7億円の減少となっております。ただし、令和元年度と令和3年度を比較した場合は、令和3年度一般会計では、国県等補助金収入（NW）で約4億円、補助金等（PL）で約1.7億円、令和元年度を上回っています。